

2011 年 10 月 5 日

報道関係者各位

独立行政法人 科学技術振興機構

公益財団法人 日本科学技術振興財団

高校生のための先進的科学技術体験合宿プログラム！ 「ウインター・サイエンスキャンプ '11-'12」の参加者募集について

この度、2011 年 12 月下旬～2012 年 1 月初旬の冬休み期間中に、高校生・中等教育学校後期課程・高等専門学校（1～3 学年）等に在籍する生徒を対象とした“先進的科学技術体験合宿プログラム”「ウインター・サイエンスキャンプ'11-'12」を、独立行政法人 科学技術振興機構の主催、開催機関の共催、本部事務局を公益財団法人 日本科学技術振興財団が担当し開催いたします。本日、参加者の募集を開始いたしましたので、お知らせいたします。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置等がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心を育てることをねらいとし、別紙「参考資料」のような成果をあげています。また今年度より、より深く学びたいと思う意欲の高い方に対して、3 泊 4 日以上で集中的に講義・観察・実験・実習等を行うことができる探究・深化型のプログラム「サイエンスキャンプDX（ディー・エックス）」を実施しております。DXとは deepen & extend、すなわち、より深く広く探究して意欲や才能を伸ばす活動という意味です。今冬は2大学が、それぞれ 24 名、40 名の規模で工夫を凝らしたプログラムを提供します。

<ウインター・サイエンスキャンプ'11-'12 の概要>

- 開催日：2011 年 12 月 25 日 ～ 2012 年 1 月 7 日の期間中、2 泊 3 日～3 泊 4 日
- 会場：大学、公的研究機関（10 会場、うち「サイエンスキャンプDX」は 2 会場）
- 定員：受け入れ会場ごとに 10～40 名（合計 206 名） ※前年度平均応募倍率：約 2.5 倍
- 応募締切：2011 年 11 月 8 日（火）必着

なお、詳細につきましては、別紙「ウインター・サイエンスキャンプ '11-'12 概要」をご参照願います。



（お問い合わせ先）

サイエンスキャンプ本部事務局

公益財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

担当：四村、川人、長尾

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

電話 03-3212-2454（直通） FAX 03-3212-0014

E-mail camp@jsf.or.jp

サイエンスキャンプ本部事務局ホームページ [http:// ppd.jsf.or.jp/camp/](http://ppd.jsf.or.jp/camp/)

サイエンスキャンプについて

1. 概要

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業等を会場に、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校(1～3 学年)等に在籍する生徒を対象とした先進的科学技术体験合宿プログラムです。本格的な研究環境で、第一線で活躍する研究者・技術者から実験・実習・講義等の直接指導を受けることにより、様々な分野の科学技术の先端に触れてもらう機会を提供しています。

2. 経緯

1995 年の夏に、科学技术庁(現在の文部科学省)所管の国立研究所(現在の独立行政法人等)9 機関を会場としてスタートしました。1997 年の第 3 回サイエンスキャンプからは科学技术庁以外の省庁(現在の環境省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、総務省)の所管する研究所も加わって規模を拡大し、毎年高校生等の夏休みにあわせて実施されてきました。

その後、2003 年の春休みからは、民間企業の研究部門や大学の理学学部や大学附属の研究所等が加わり、夏(サマー)・冬(ウインター)・春(スプリング)の年 3 回の

開催になりました。

プログラムの日程は 2 泊 3 日が基本ですが、今年度より 3 泊 4 日以上探究・深化型プログラム「サイエンスキャンプ DX (ディー・エックス)」も始まり、さらに充実した内容で開催いたします。

3. 実績

サイエンスキャンプは 2011 年で 17 年目をむかえます。2011 年の夏休みまでに 10,000 名を超える高校生達(10,215 名)が参加しました。

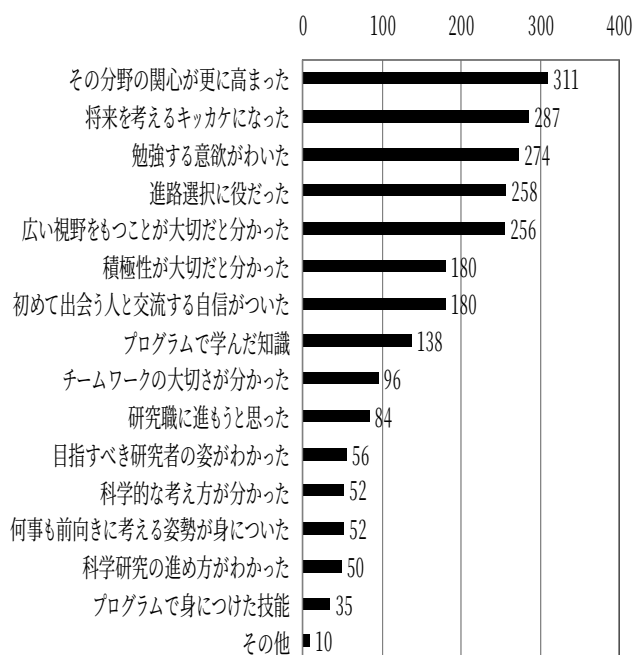
参加者アンケートによると、多くの参加者が、サイエンスキャンプで体験した科学技术分野への関心を更に高め、広い視野や積極性を持つことの大切さに気づいています。また将来を考えるきっかけにもなっています。

サイエンスキャンプへの参加が、科学技术に対する興味関心や進路に少なからず影響を与えていることは、1995 年度～2003 年度までの参加者に対して行った追跡調査(2004 年 3 月集計)の結果からも読み取れます。

サイエンスキャンプ OB、OG には、夢を実現して研究者や技術者となっている人も多く、さらにサイエンスキャンプで高校生の指導にあたる人も現れてきています。

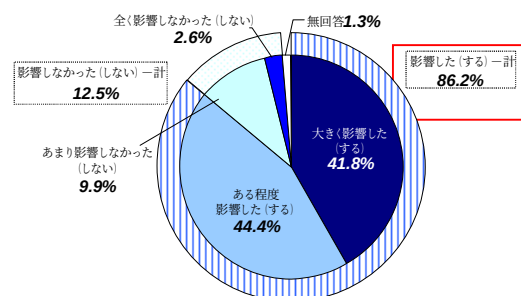
<2010 年度サイエンスキャンプ
参加者に対するアンケート調査結果より>

今回のサイエンスキャンプを通して、自分自身の役に立ったと思うことはありますか。【N=2,319】

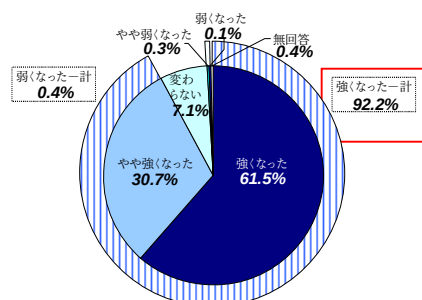


<1995～2003 年度サイエンスキャンプ
参加者に対する追跡調査結果より>

サイエンスキャンプの経験は、あなたが進学先を選択する際にどのくらいプラスの影響を与えた(あるいは与える)と思いますか? 【N=1,373】



サイエンスキャンプに参加した当時を振り返ると、キャンプに参加することで、科学技术に対するあなたの興味・関心はどのように変化しましたか? 【N=1,373】



ウインター・サイエンスキャンプ'11-'12 概要

1. 趣旨

我が国は、科学技術の振興により、豊かな国民生活や社会経済の発展及び産業競争力の強化を目指しています。その実現に向けて、我が国全体の研究開発力や国際競争力を維持・向上させるとともに、安全・安心で質の高い生活環境を構築するためには、科学技術活動の基盤となる人材をいかに養成し、確保していくかが極めて重要な課題です。そのため、青少年が科学技術に夢と希望を傾け、科学技術に対する志向を高める機会の充実が求められています。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心、理数の才能等を育てることをねらいとしています。

2. 事業の概要

2011年12月下旬～2012年1月初旬の冬休み期間に、「ウインター・サイエンスキャンプ'11-'12」として、ライフサイエンス、環境、エネルギー、材料、(宇宙等の)フロンティア、農学、地球科学、機械工学、数学等の分野において先進的な研究テーマに取り組んでいる大学、公的研究機関の10会場が、それぞれ10～40名(計206名)の規模で実施する科学技術体験合宿プログラムです。各会場は、それぞれの機関の特徴を活かした講義・実験・実習等によるプログラムを企画、実施します。参加者は2泊3日～3泊4日の合宿生活を送りながら、第一線で活躍する研究者・技術者による直接指導を受けます。

今年度より、より深く学びたいと思う意欲の高い方に対して、3泊4日以上で集中的に講義・観察・実験・実習等を行うことができる探究・深化型のプログラム「サイエンスキャンプDX(ディー・エックス)」を実施しております。DXはdeepen & extendの意味で、より深く広く探究して意欲や才能を伸ばす活動という意味です。今冬は2大学がそれぞれ24名、40名の規模で、工夫を凝らしたプログラムを提供します。

3. 主催

独立行政法人 科学技術振興機構

4. 共催(受入実施機関)

サイエンスキャンプ DX

【大学】

国立大学法人筑波大学、国立大学法人愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター

サイエンスキャンプ

【大学】

国立大学法人北見工業大学、国立大学法人東北大学大学院工学研究科創造工学センター、足利工業大学総合研究センター、国立大学法人東京大学国際高等研究所数物連携宇宙研究機構、国立大学法人鳥取大学産学・地域連携推進機構、国立大学法人福岡教育大学

【公的研究機関】

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(筑波宇宙センター)、独立行政法人 農業生物資源研究所

5. 後援

文部科学省

6. サイエンスキャンプ本部事務局

公益財団法人 日本科学技術振興財団

7. 応募資格

応募締切日時点で、日本国内の高等学校、中等教育学校後期課程または高等専門学校（1～3 学年）等に在籍する生徒。これまでにサイエンスキャンプの参加経験がある人でも応募できます。

8. 応募締切日

2011 年 11 月 8 日（火） 必着

9. 応募方法

「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、応募締切日必着にて、公益財団法人日本科学技術振興財団サイエンスキャンプ本部事務局宛に郵送でお送りください。

「参加申込書」はサイエンスキャンプ本部事務局のホームページ（<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>）からもダウンロードできます。

※必ず、保護者自署・押印のある原本を郵送してください（FAX 不可）。

※応募は 1 人 1 通のみです。複数の応募は無効となりますのでご注意ください。

※サイエンスキャンプ DX については、参加申込書に加えて追加資料の提出が必要な場合があります。募集要項の実施会場該当ページにてご確認ください。

10. 選考方法および決定通知

（1）「参加申込書」に基づいて各プログラム実施会場が選考を行い、参加者を決定します。

（2）選考結果は、12 月上旬、応募者本人宛に郵送で通知します。また、参加者には、集合場所への経路や持ち物など詳細を説明した「参加のしおり」、その他参加にあたり作成いただく書類も送付されます。

※「参加申込書」に記載された住所に郵送します。

選考結果通知：2011 年 12 月上旬

11. 参加費

参加費は無料です。プログラム期間中の宿舍や食事も主催者が用意します。

※ただし、現地集合・現地解散です（自宅と会場間の往復交通費は自己負担となります）。

※東日本大震災で被災して、自治体の「り災証明」または「被災証明」の発行を受けられた（または福島原子力発電所の警戒区域、緊急時避難準備区域および計画的避難区域から避難されている）ご家庭の生徒は、参加決定後にご提出いただく交通経路調査票にもとづき、主催者が 35,000 円を上限として交通費を補助いたします。（停電、断水、高速道路通行のための被災証明は補助の対象となりませんのでご了承ください。）なお、証明書発行が遅れる等、特別の事情がある場合はご相談ください。）

12. 参加者サポート

集合から解散までの間、受入実施機関担当者、アドバイザーの先生（高校理科教員）、サイエンスキャンプ事務局、現地会場のスタッフが、プログラムが円滑に実施されるようにサイエンスキャンプの運営を行い、参加者と寝食を共にしながらその学習や生活をサポートします。

13. プログラム一覧

サイエンスキャンプDX

(開催日程順)

プログラムタイトル	会場名	会 期	募集 人数	プログラム 関連分野
最先端の科学を知ろう！ ～つくばまるごとサイエンス体験～	筑波大学	2011 年 12 月 25 日 (日) ～12 月 28 日 (水)	40 名	生物学、分子生物学、生態学、宇宙科学、地球科学
試験管の中で生命をつくる～遺伝情報とタンパク質～	愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター	2011 年 12 月 25 日 (日) ～12 月 28 日 (水)	24 名	生物学、生命科学、分子生物学、遺伝子組み換え実験

サイエンスキャンプ

(開催日程順)

プログラムタイトル	会場名	会 期	募集 人数	プログラム 関連分野
体験しよう！風力発電の技術	鳥取大学 産学・地域連携推進機構	2011 年 12 月 25 日 (日) ～12 月 27 日 (火)	16 名	風力エネルギー工学、機械工学、流体工学
先端機器で拓く身の回りの科学	福岡教育大学 理科教育講座	2011 年 12 月 25 日 (日) ～12 月 27 日 (火)	20 名	有機合成化学、分析化学、天文学
宇宙開発の最前線から学ぼう ～ウインター・コズミックカレッジ～	宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター	2011 年 12 月 25 日 (日) ～12 月 27 日 (火)	24 名	航空・宇宙工学、宇宙医学、天文学
携帯電話から金をとりだしてみよう	東北大学大学院工学研究科 創造工学センター	2011 年 12 月 26 日 (月) ～12 月 28 日 (水)	12 名	材料化学、物理化学、金属生産工学
お米改良の最前線 ～ゲノム情報と遺伝子組換え～	農業生物資源研究所	2011 年 12 月 26 日 (月) ～12 月 28 日 (水)	10 名	農学、分子生物学、植物学
知ろう・創ろう太陽エネルギー	足利工業大学 総合研究センター	2011 年 12 月 26 日 (月) ～12 月 28 日 (水)	20 名	再生可能エネルギー、ソーラークーラー、色素増感太陽電池
数学と物理学で挑む素粒子と宇宙の謎	東京大学 数物連携宇宙研究機構	2011 年 12 月 26 日 (月) ～12 月 28 日 (水)	20 名	宇宙、素粒子、数学
雪と氷の世界を体験しよう ～雪結晶から地球環境まで～	北見工業大学	2012 年 1 月 5 日 (木) ～1 月 7 日 (土)	20 名	雪氷学、地球環境、地球科学

14. 応募先・問い合わせ先

サイエンスキャンプ本部事務局：

公益財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

電話：03-3212-2454 FAX：03-3212-0014

E-mail: camp@jsf.or.jp

サイエンスキャンプ本部事務局ホームページ：<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>